

2020年12月17日

鹿児島県知事 塩田 康一 殿

日本労働組合総連合会
鹿児島県連合会
会長 下町 和三



馬毛島での陸上空母離着陸訓練の基地移転等に反対を求める要請

未だ新型コロナウイルス感染症の終息が見いだせない中、県民の命と暮らしを守るため、連日、ご尽力されておられますことに敬意と感謝を申し上げます。

さて、私たち連合鹿児島は、連合本部の方針に基づき、国民の暮らしの安心・安定・安全を確保するため、「在日米軍基地の整理縮小」、「日米地位協定の抜本的な見直し」等を重点政策のひとつとして掲げ、取り組みを進めてきています。

今回の馬毛島での米軍による陸上空母離着陸訓練（以下、FCLP）の基地移転については、何ら日米地位協定の抜本的な見直しが行われない中、既存の訓練基地に加え、馬毛島にあらたに基地を設けるものであり、在日米軍基地の整理縮小にも沿うものではないとの認識を持つものです。

加えて、馬毛島にFCLPを前提とした自衛隊と米軍が共同で使用できる施設を整備し、訓練が行われれば、騒音被害や不慮の事故、自然破壊、地域経済への悪影響等が懸念されるばかりか、将来的には、訓練基地に止まらず、周辺地域を巻き込んだ軍事基地化へ発展することを危惧いたしております。

また、本年行われた「陸上自衛隊日出生台演習場（大分）」、ならびに「航空自衛隊新田原基地（宮崎）」での日米共同演習においては、自治体や住民との約束を反故にした演習の実施や新型コロナウイルスの感染抑止に向けた自治体の要請を無視する対応等、日米で行う演習や訓練自体が社会的に問題視されるものになりました。

以上を踏まえて、私たち連合鹿児島は、住民の安心で安全な生活を守ることはもとより、周辺海域での漁業や船舶・航空機の運航、世界自然遺産である屋久島や、種子島の観光に甚大な被害が及ぼすことがないよう、本年4月に西之表市をはじめ、近隣の中種子町、南種子町、屋久島町に対して、FCLP基地の移転、ならびに訓練実施に対し、反対する姿勢を明確にするよう、要請を行ってきたところです。

塩田知事におかれましても、県民の命と暮らしを守り、馬毛島近隣地域の持続可能な発展に向けてご尽力いただくよう、以下について要請致します。

記

- 一、馬毛島への陸上空母離着陸訓練（FCLP）の基地移転、ならびに訓練実施に反対すること。
- 二、国に対して、馬毛島への陸上空母離着陸訓練（FCLP）の基地移転の方針撤回を求めること。
- 三、馬毛島が地域の持続可能な発展に寄与できる活用方法について、西之表市をはじめ、近隣自治体と協議すること。

以上